

はじめに

どうしたら生徒の即興的に話す力を伸ばせるだろうか…？  
評価基準を先に共有してから実践に入るべきというけれど、その具体的な方法がわからない…。そんな疑問に答えるような実践例とワークシートです。言語材料を変えればどの学年でも応用できると思います。質問があれば、勤務校へご連絡ください。一緒に生徒の力になる指導と評価について考えていきましょう。

鳥屋野中学校  
本図 直美

# タスク計画

speaking/reading/listening/writing

1年 2年

3年

Lesson 3 4

## 学習指導要領目標 (3) 話すこと【やりとり】ア

関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。



## どんな活動を通して? エ 話すこと【やりとり】ア

関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動



### 評価タスク

#### ■会話のフォーマット（型式）

<あいさつ → 生徒が3枚のカードの中から1枚ひく>

T: Let's talk about ~. 一文 + [ 質問 ]

S: [ 答える ] + [ 自分の答えに関連させて2文程度 ] + [ 質問 ]

T: [ 答える ] + [ 質問 ]

S: [ 答える ] + [ 自分の答えに関連させて2文程度 ] + [ 質問 ]

※ うまく言えたターンでみとる。

※ 一回目のターンでうまく言えれば、そこで終了でよい。

#### ■評価項目

	構成	内容	言語
◎	質問に答え、説明文2文以上を加え最後に質問で返している。	質問のトピックに沿った [ 答え + 説明 + 質問 ] である。	ネイティブスピーカーが聞いて迷うことなく理解できる文で伝えている。
○	質問に答え、説明文1文を加え最後に質問で返している。	質問のトピックに沿った [ 答え ] あるいは [ 説明 ] である。	ネイティブスピーカーが聞いておおむね意味の通る文で伝えている。
△	答え、説明文、質問のうちいずれかがない。	質問に関係していない答えや説明文である。	動詞が抜けるなど、伝えたいことが伝わらない。

■評価点 合計 10点 3点(◎) 内容の部分のみ4点

2点(○)

1点(△)



### 練習タスク

・学習タスク⑤の活動を週2回程度、7分ほど帯で行う。本番までに少なくとも5回は行い、習熟

を図る。(班員を変えるなど工夫をする。)

・適宜【資料⑤paper talk】を入れ,じっくり考えながら書く+教師の添削による正確さの向上を図る。



学習タスク

手順	具体・本図案
① 動機付け	今まで… 定期テストでは、やりとりの文章を書く経験はあった。 でも ALT の先生と言葉で伝え合う経験は少ない。 一対一で対話して自分のことを伝えよう。
② モデル分析	事前録画した良いモデルと不十分なモデルをビデオ視聴。その後、目指す姿(A+2文+Q)を共有のために【資料②good&not enough model】を配布。
③ 内容を考える (宿題でも可)	・さいころトークの用紙を配布する。【資料③さいころトーク】 ・自分のこと1文+Qを6つ準備する。
④ 共同組み立て	・先生が書いたさいころトークの質問に関してどう答えるか、学級みんなと一緒に考える。
⑤ 自己表現	・グループで順にさいころをふり、出た目にある質問に関して、グループ全員が(A+2文+Q)で答える。相づちをうちながら聞く。そこから会話が発展するもよし。

例	内容	言語
◎	質問のトピックに沿った【答え + 説明 + 質問】である。 What is fun for you?に対して It is fun for me to play basketball. I like basketball. I was in the basketball club. Do you like basketball?(内容がトピックに沿っている)/What is exciting for you?(話題を変えて質問している。)	ネイティブスピーカーが聞いて迷うことなく理解できる文で伝えている。 グローバルエラーがない。複数形や代名詞の間違いはあっても伝えたいことが伝わってくる。 What is fun for you?に対して It is fun for me to play basketball. I like basketball. I was (in the) basketball club. Do you like basketball?
○	質問のトピックに沿った【答え】あるいは【説明】である。 What is fun for you?に対して It is fun for me to play basketball. もしくは、I like basketball. I was in the basketball club.と聞かれたことに対して答える文が一つはある。	ネイティブスピーカーが聞いておおむね意味の通る文で伝えている。グローバルエラーはあるが伝えたいことは伝わる。 It is fun for me to playing basketball. I like basketball. I was in the basketball club. Are you like basketball?
△	質問に関係していない答えや説明文である。 I am an Arashi fan.など。	動詞が抜けるなど、伝えたいことが伝わらない。

# Speaking やりとり ～比べてみよう！～

name \_\_\_\_\_

1. より多くの情報をスムーズにやりとりしているのはどっち？

## A or B

○をつけよう

2. どんな構成・内容・言語で話せばいいだろうか？

Taori : Hello! I have been to Awashima. Have you ever been to Awashima?

Naomi: Yes, I have. I've read Harry Potter.

Taori : Oh,.....

~~~~~

Taori : Basketball game makes me excited. What makes you excited?

Naomi: Cycling making excited. It is fun.

Taori : Oh,..... See you!

example

### A

Taori : Hello! I have been to Awashima. Have you ever been to Awashima?

Naomi: Yes, I have. I've been to Awashima once. I ate good seafood there. Have you ever been to Sado?

Taori : Yes, I have. I have been there twice.

~~~~~

Taori : Basketball game makes me excited. What makes you excited?

Naomi: Cycling makes me excited. I go to Murakami by bike. It is so much fun. Do you like cycling?

Taori : Oh, So so. See you!

example

### B

	構成	内容	言語
◎			
○			




# Let's have a <sup>dice</sup> talk!



Name \_\_\_\_\_



No.	Questions you want to ask your friends	Let's use . . .	Memo about friends 
例	I have been to Awashima once. Have you ever been to Awashima?	まず自分のことを一文紹介してから質問してみよ	Naomi ○
1		(経験をたずねる) A: Have you ever~?	
2		B: { Yes, I have. No, I haven't.	
3		(感情のコントロール) A: What makes you ~	
4		(when you are ~)? B: ~~~~~ makes me ~.	
5		(楽しいこと、大切なこと などをたずねる) A: What is ~ for you?	
6		B: It is ~ for me to ~.	

# ★ Performance Test for 3rd grade ★

■実施日程 令和2年 10月22日(木) / 10月26日(月)  
英語の授業内



■実施方法 ALTの先生と1対1で、インタビュー形式で行う(1人1分)

- ・話すテーマは
  - a) 経験 b) 感情のコントロール c) 楽しいこと、大切なことなど
- ・上記のカード3枚の中から1枚ひき、そのテーマに沿ってインタビューをうける

■会話のフォーマット(型式)

S: 生徒、T: 先生	<あいさつ → 生徒が3枚のカードの中から1枚ひく> T: Let's talk about ~. 一文 + [質問] S: [答える] + [自分の答えに関連させて2文程度] + [質問] T: [答える] + [質問] S: [答える] + [自分の答えに関連させて2文程度] + [質問]
-------------	---

■評価項目

	構成	内容	言語
◎	質問に答え、説明文2文以上を加え最後に質問で返している。	質問のトピックに沿った[答]え + 説明 + 質問である。	ネイティブスピーカーが聞いて迷うことなく理解できる文で伝えている。
○	質問に答え、説明文1文を加え最後に質問で返している。	質問のトピックに沿った[答]えあるいは[説明]である。	ネイティブスピーカーが聞いておおむね意味の通る文で伝えている。
△	答え、説明文、質問のうちいずれかがない。	質問に関係していない答えや説明文である。	動詞が抜けるなど、伝えたいことが伝わらない。

■評価

構成	◎	—	○	—	△
内容	◎	—	○	—	△
言語	◎	—	○	—	△

感想

Class No Name



Experience

(Have you ever~?)

How to control the



emotion

(What makes you~ when you are~?)

Important / fun / difficult /



interesting / easy things

(It is ~ for-to )



# Let's enjoy Paper Talk!!

CLASS \_\_\_\_\_ NAME \_\_\_\_\_

NAME



NAME



comment

足りなければ裏へどうぞ➡

